

技術情報カード

No.43

平成14年11月



●●●●●
技術情報カード No.43
平成14年11月

徳島県立農林水産総合技術センター
森林林業研究所

〒770-0045
徳島市南庄町5丁目69
TEL 088-632-4237
FAX 088-632-6447
●●●●●

2002 林業機械展示・実演会

はじめに

平成14年10月6日、7日の両日、第26回全国育樹祭の記念行事として「2002 林業機械展示・実演会」が、佐賀県神埼郡神埼町で開催されました。

現在の林業情勢は、関係者の方々の懸命な対応にもかかわらず厳しい局面が続いており、本年度のこの展示・実演会についても出展メーカーが減少することが懸念されていたようですが、昨年の38社を上回る40社が出展し、少しでも需要を広げようとPRに努めていました。

平成16年には徳島県で育樹祭が開催されること決定しており、これに伴い林業機械展示・実演会も県内で開催されることになっています。

そこで今回は、間近にせまってきたこの展示・実演会を視察してみて、気づいた点、気になった（おもしろい？）機械等をご紹介します。

1 全体的な印象

「森林（もり）と機械と人の調和」をテーマとして開催された今回の展示・実演会は、吉野ヶ里遺跡に隣接した吉野ヶ里ニューテクノパークが会場となりました。ロケーションは素晴らしいところで

開催されたのですが、あいにく天候には恵まれず、残念ながら2日間の内1日は雨にたたられました。

会場を回ってみてまず受けた印象は「環境保全型機械」あるいは「資源循環型機械」とも呼べるような機械が多い、ということでした。すなわち、チップパー、シュレッダー、ハンマークラッシャーなどの樹木粉碎機を中心としたものです。この傾向は、環境に対する世論の高まり、あるいは廃棄物関係の法律強化等により、数年前から年を追って強くなってきているようです。

一方、一時は高性能林業機械の代表のように言われたタワーヤードはすっかり姿を消し、（見かけたのは1台だけでした。）代わりにスイングヤードが数多く見受けられたのが特徴的でした。（写真-1）

その他、プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダなどの高性能林業機械は例年どおり出展されていたようです。



写真-1

2 気になった機械の紹介

建設用重機をベースマシンとした大型林業機械が目立つ中で、ちょっと目に留まった機械を二つ三つご紹介します。

(1) 林内作業車…N社 商品名「日輪」

従来の林内作業車の多くは、ウインチは付いており引き寄せは容易にできるものの、荷台に積み込む時にはちょっとした労力がいました。



写真-2

写真-2の林内作業車は、油圧クレーンを搭載したもので、引き寄せてきた材を簡単に荷台へ積み込むことができます。また、吊り上げ作業時に使うフック部分にも工夫がされており、

バランス良く吊り上げられるようになっています。

機械の作り自体は荒削りな印象を受けましたが、引き寄せ作業と積み込み作業と二段階に分ければ、能率良く作業が行えそうです。(最大積載量1.2t、全幅1.23m、ディーゼル、価格179万円)

(2) 多用途運材・荷役機

S社 商品名「スキッドステアローダ」



写真-3

写真-3は、今回参考出展された機械です。格好は、畜産関係でよく使われているものと似ていますが、操作性、利便性

は格段に違うように感じました。

この機械の最大の特徴は、回転半径が小さく、狭い場所での作業が行えるということです。片側のタイヤを中心にして回転することができ(ピボットターン)、しかも運転操作は左手一本で行えます。

写真-4は運転席ですが、左レバーで運転操作、

右レバーでアタッチメントの操作を行います。



写真-4

もう一つの特徴は、アタッチメントの取り替えが簡単に行えるということです。油圧

ホースもワンタッチで取り外し、取り付けができるようになっており、数十秒で交換できます。写真では先端のアタッチメントがバケットになっていますが、油圧で上についている爪が動き、材をつかむことができます。腕は約2.8mまで上がり、トラックへの積み込みにも使えます。外に、排土板、フォーク等何種類かのアタッチメントがあり、作業に応じて取り替えることができるようになっていますが、アタッチメントにもう一工夫あれば狭い土場での活用もできるように感じました。(車体重量2.6t、全幅1.6m、価格350万円(アタッチメント別))

(3) チェーンソー

年々、軽量で使い勝手が良くなっていますが、今回特に目についた改良点はスターターの軽さです。ここ1年あまりの間に、国内各メーカーとも既に刈払機に採用しているスターター方式をチェーンソーにも取り入れ、商品化したようです。

(4) その他

外に、移動式製材機(自走式)、簡易炭窯(容量200L)等、おもしろいものもあったのですが、紙面の都合でご紹介できないのが残念です。

※なお、ここに紹介した機械の性能等は、聞き取り、あるいは実演により判断したもので、実際に使用して確認したものではありませんので、詳細や仕様は、各メーカーにご確認ください。

◆内容に関するお問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術センター

森林林業研究所 企画研修担当 伊賀上 朗

TEL 088-632-4237 FAX 088-632-6447